



熊本県 JICA 派遣専門家連絡会

「JICA 派遣専門家連絡会」に期待するもの

熊本県国際協会 理事長 山部征三

3. 1 1 東日本大震災直後から、日本人の規律正しさ、忍耐強さ等に世界から驚嘆と見舞いの声が寄せられました。1週間前に大地震に見舞われ自国の被災対策に追われていたニュージーランドからも救援隊が派遣され、紛争中のアフガニスタン、また、アメリカをはじめ多数の友好国から救援隊が派遣され救助活動に参加しました。

世界120を超える国々から支援金と見舞いのメッセージが寄せられました。この中には世界の最貧国と云われる国の毎日の生活が苦しい人たちからも義援金が送られてきました。その後に行われた好きな国ランキングでは日本が1位だったことがインターネットで紹介されました。

このように日本が世界の国々から信頼を得られているのは、永い年数をかけて日本が官民挙げて世界の平和と繁栄に取り組んできたことが浸透して、その評価からだと思います。

なかでもその中心は JICA 事業に携わる JICA ボランティアの皆さんの活躍によるところが大きいと思います。JICA は世界の平和と繁栄のために、国際援助、貧困、開発などに取り組んでいます。

JICA では「専門家派遣」、「シニア海外ボラン

ティア」、「青年海外協力隊」と三つの市民参加協力を進めていますが、この活動に参加した人たちでつくる「熊本県 JICA 派遣専門家連絡会」、「熊



本県シニア海外ボランティア OB 会」、「熊本県青年海外協力隊 OB 会=熊本県青年海外協力協会」はそれぞれの立場で帰国後も活動を続けておられてその真摯な取り組みに敬意を表したいと思います。

また、「熊本県 JICA 派遣専門家連絡会」と「熊本県青年海外協力隊 OB 会=熊本県青年海外協力協会」は

熊本県国際協会に入会していただき中心的な活動をしていただいております。感謝申し上げます。

このたび、活動目的を同じくするこの JICA ボランティア三団体が一つに結束し更なる活動を展開しようとする日本ではじめての連合組織づくりを進めておられることを聞き及び時宜を得た先進的な取り組みと改めて敬意を表したいと思います。

国際協会では新しい連合組織がひきつづき国際協会にご参加頂き協会活動の牽引役を務めて頂きますことを願っています。

新しい連合組織が早い時期に結成され、熊本県の内外、国外で活発な国際協力活動が行われますようご期待致しますとともに、会のご発展と会員の皆様のご多幸とご活躍を衷心よりご祈念申し上げます。

昨年は地球のあちこちで大災害が発生した年でした。会員の皆様におかれましては、それぞれ新たな気持ちで新年をお迎えのことと拝察致します。

かの東日本大震災に対し、私共が日頃支援して来た多くの途上国からも精一杯の支援やメッセージが届きました。その中で私の心を暖かくしたものの一つは、“国民総幸福量”を重視するブータン国の国王・王妃のご訪問でした。お言葉の中に「ブータンは小さな国でもありますが、強い国でもあります。」「われわれの文化と伝統は今も強靱に活力を保っています。-- (中略) -- 人々のあいだに深い調和の精神を保ち、質素で謙虚な生活を続けています」とありました。国際協力機構の緒方貞子理事長の年頭ご挨拶では、「この東日本大震災と世界の自然災害の支援に携わる多くの職員が、国際的な相互依存の現実と、これに対応する国際強力の重要性を再認識しました。」「中東の民主化運動アラブの春については、情報が急速に広範囲に広がる現在の社会で、より平等で開かれた制度を持つ国をつくっていくことの難しさ、新しいガバナンスの仕組みを構築する必要性を痛感しました」と述べておられます。また、忘れてならないこととして、「その原資の多くが国民の貴重な血税から成る JICA 事業は、日本と世界の協働の場であり、日本と世界をつなげる交流と協力の機会を提供する、日本の将来にとって重要な責任と役割を担っていることを重ねて肝に銘じ、一層の努力を重ねていく」と力強く誓われました。こうした信念こそが日本の伝統文化であり、ともに共有しながら今後の活動を続けていきたいものです。

ところで、当連絡会としてはこれまでも「国際協力に対する市民の理解促進活動」を主たる目標に地域の JICA 関連団体とも連携した活動を模索してきたところ

です。その実現に向け、目下「熊本県青年海外協力隊」、「熊本県シニア海外ボランティア OB 会」を加えた 3 つの団体の連合組織づくりを進めています。各団体の活動はこれまでどおり進めつつ、それぞれの特色を活かした、より幅広い活動を展開しようというものです。志のある若い仲間を増やし、更に専門性を深めて活動を充実して参りたいと思います。この熊本の地から国内外に向けて“地球民総幸福量”をご一緒に求めて参りましょう。これまで以上に会員の皆様の積極的なご協力、ご参加をお願いいたします。

平成 22 年度総会及び講演会の開催

平成 23 年 1 月 29 日、熊本市国際交流会館にて来賓、会員 20 名の参加を得て 22 年度の総会及び講演会を開催しました。JICA 九州国際センター村岡敬一所長、県協力隊を育てる会の筑紫汎三会長ら来賓のご挨拶、会務報告に続き、恒例の会員による講演会を一般公開で行ないました。

今回は、「日本人の心と欧米・アジア」入口紀男会員（熊本大学総合情報基盤センター）と「日本から見た海外の水産事情」汐月卓也会員（元・（財）海外漁業協力財団海外派遣要員）の 2 演題で、それぞれ専門家らしく熱のこもった素晴らしいご講演をいただきました。（写真）その講演要旨は昨年度の本連絡会会報「JICA EXPARTS くまもと」17 号に掲載されています。



講演会終了後、懇親会を開催し会員以外の講演参加者も含め、相互の交流親睦を深めました。

当連絡会会報の発行

会報「JICA EXPARTS くまもと」No.17 を発行し、当連絡会会員、JICA 関連機関及び各県の専門家連絡会宛に発送しました。



平成23年度 熊本県 JICA 派遣専門家連絡会 活動記録

年	月	日	行事内容	場所
23	3	10	ニュージーランド地震カンパ	
		15	東日本大震災カンパ	
4	9		青年海外協力隊帰国報告会	国際交流会館
	26		熊本県国際協会総会出席	交通センターホテル
5	14		熊本県青年協力協会総会	熊本市現代美術館
6	14		青年海外協力隊壮行会	国際交流会館
7	2		海外協力三団体連合準備会	パレア
9	14		シニア・青年ボランティア壮行会	交通センターホテル
10	22		青年海外協力隊募集説明会	国際交流会館
11	6		熊本国際交流祭典	サンロード新市街
	12	17	海外協力三団体連合準備会	パレア
24	1	21	海外協力三団体 報告会	パレア

「地震・火山活動から防災を考える」

(阿蘇火山博物館 学術顧問)

須藤 靖明

「3・11」に、「想定外」の大地震と大津波、そして原発事故が発生し、未曾有の大災害となりました。台風 12 号でも紀伊半島に甚大な災害をもたらしました。まだ混乱の中に漂う我が日本です。大災害に対し、「想定外」という言葉が広く使われています。果たして巨大地震や大津波、先の見通せない原発事故、そして洪水・地盤崩壊などが「想定外」の出来事だったのであるか。

熊本県では、九州で発生している深さ 20km 未満の地震の 60% が生じ、まさに地震の巣の上に私たちは生活しています。最近も菊池市近くで地震が多発しております。断層も多く、それなりの被害を想定した対策が必要です。その「想定」が十分なのか検証も必要です。そして「防災」とは何なのか？熊本・阿蘇の地震と火山を理解し、個々人の自己判断の大切さを考えてみたいと思います。



熊本地域の主な地震

- 1889 年 7 月 28 日 熊本地震 M 6.2 死者 20 負傷者 54～74 立田山断層？わが国ではじめての余震観測 ポツダムなどで記録
- 1894 年 8 月 8 日 阿蘇地震 M 6.8 死者 0 日清戦争のため資料が少ない 阿蘇・二重峠断層？
- 1895 年 8 月 27 日 阿蘇地震 M 6.8 死者 0 阿蘇・二重峠断層？ 上立田・陣内・弓削付近から津久礼・大津で激烈な被害 熊本地震より惨状一層極めたりとのこと
- 1975 年 1 月 23 日 阿蘇北部地震 M 6.1

火山爆発では

- ・大きな破片は 火山周辺近くに散乱 ・小さな粒である火山灰は少し流れながら近くに落下
- ・微粒子であるエアロゾルはほとんど落下せず火山ガスと同じ行動。この火山ガスの SO₂ は太陽の紫外線で酸化され 水分を集めて硫酸エアロゾルとなる
- ・その他に火山ガスには様々な物質が含まれているので 流れる途中の様々な化学変化を生じる
- ・最終的に元の自然環境へ 戻る

『自然 災害』とは

自然現象は防止できない 災害は軽減できる 減災
災害を軽減するために

- ・自然現象の観測と監視 ・現象についての情報収集と伝達 ・被害の想定
- ・自然現象についての正しい認識 (住民・報道・専門家・行政・学校・事業所(企業・店舗))

『自然 災害』の問題点

1. 発生頻度が非常に小さい 発生すれば大きな災害
2. 現象の発生日時の予測が困難 不確定
3. 現象が不規則で連続性がない 場所・時刻(季節・時刻)・気象 様々な多種多様な状況が出現
4. 2次, 3次的な事態が発生 対策が後手後手になる

マグニチュードと断層の関係

マグニチュード	断層面の長さ 巾(深さ)	滑り量	時間	
M 6	10km	5km	0.3m	3 秒間
M 8	100km	50km	3.0m	30 秒間
M 9	500km	200km	20m	150 秒間
M 10	1000km	500km	30m	300 秒間

放射性物質

- ・風に乗る気体と微粒子 高温で放出されたヨウ素 131 などは気体分子として空気に混合。ヨウ素も やがて固体微粒子や液体微粒子に溶ける・・・火山ガス SO₂ と同じ
- ・セシウム 137 などは 固体や液体に含まれその微粒子は空気中を漂い。風に乗って運ばれる・・・細かな火山灰と同じ

SPEEDI(System for Prediction of Environmental Emergency Dose Information)の開発とその威力 Dose:放射線量

火山放出物の大気拡散も原発からの放射物質の拡散も同じメカニズムで扱えます。それで 2000 年の三宅島噴火で火山ガス問題が扱われ SPEEDI はその性能の威力を発揮し、毎日の 3 時間平均の SO₂ 濃度分布を高度毎に 3 次元的に広く公開。既に それから 10 年間以上に経過し 開発は進展したのですが???

火山ガスとの違い

火山ガスでは降り始めの細かい雨は特に濃度が高く危険で酸性雨となる

放射性物質ではそれぞれに決まった半減期で壊変していくだけでその性質を変えて 無害化することは出来ない。そして、目に見えない・臭いもしない

植物と戯れて ～厳しい生薬の現状、有効な漢方薬の現状～

熊本大学薬学部薬用資源エコフロンティアセンター
矢原 正治

西洋薬が絶対と思っていた時代から、西洋薬では治すことに苦勞する病が有ることに気づいたのでしょ

野山で・街中で花を見つけるとホットします。「植物とたわむれて」などとかっこいい言葉を使いましたが、植物に教えてもらっての方が多様な気がします。植物のことを判っているのかな？自分の勉強不足で知らないのかな？植物は人間より下等なのかな？

私に接するたびに「植物はすごい」と感じ「戯れさせてもらっています」



う、漢方薬が多く使われるようになってきています。

一つの例として、「術後の腸閉塞の予防」があります。これには漢方薬の「大建中湯」が用いられています。また、西洋薬の味は「苦い」、苦い物は、漢方の性味で「冷やす性質」を持っているモノが多く有ります。

元々西洋薬は、抗菌活性を持つ「抗生物質」、「ア

まず、漢方薬の現況：漢方薬、中医学、伝統薬は、2000年以上昔から、人が「病気の時、元気が無い時、疲れた時」に、「身体を元の状態に戻す」ために用いてきた、自然界の物です。漢方薬を構成するものを生薬（生薬）と言い、主に植物、他に、動物、鉱物、菌類の全体、ある部分を用います。それを「乾燥、少し熱を加え乾燥する等」したものを用いている。そして現在でも100処方以上が保健に収められ、200種以上の生薬が医療に用いられています。（生薬の原植物には食用に用いられる物も多数有ります）

薬・食でも「必要でない物を人は使わなく」なります。しかし、漢方薬は今でも治る人がいるため残っています。「漢方薬は科学的でない」、「西洋薬は科学的である」と良く言われますが、漢方薬は2000年位の「統計処理」のなかで、人の身体の変化を観察し、病気による体質の変化を「元の状態に戻す」のには、どの処方が良いのかを考えてきました。

日本では明治維新の時に西洋薬・西洋医療に重点が置かれ、伝統医療は角におかれしました。しかし、

スピリン」のような解熱鎮痛・抗炎症剤が主に開発され人命に対し大きな貢献をしています。これらは炎を鎮める、抗炎症性の薬であり、単純に考えても「冷やす」ことはお分かりだと思います。抗生物質を飲むと胃を痛める・腸内細菌が死んで下痢をする等の副作用も有ります。漢方薬には温める作用の処方が1/3位あり、副作用が少ない等、今後必要な薬です。

このような現状と、中国の経済発展により、漢方薬の原料、生薬の主生産地である中国での需要が増え、生薬の価格が、昨年半年で30%以上アップした生薬も沢山あります。また医療保健費の削減で薬価を下げる傾向に有り、漢方処方に利用されている生薬の8割位が良い生薬を適正な価格で市場に流通させることが難しくなっているのが現状のようです。

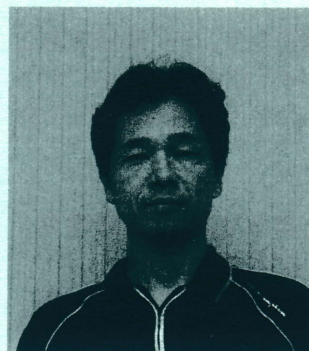
年齢を重ねると、老化とともに胃腸が弱り、基礎代謝が落ち、身体が冷える傾向になる人が増えている現在、例えば「冷やす性質の西洋薬」で、「胃腸の働きを鈍くする」か、少しでも「温まる薬」で、「胃腸の働きを普通に保つか」、あなたはどちらを選びますか？

会員の広場

新会員

柏木 学 (かしわぎ まなぶ)

勤務先: 独立行政法人森林総合研究所 林木育種センター九州育種場 遺伝資源管理課 収集管理係長
派遣勤務歴: 平成 15 年冬及び夏 (各1ヶ月程度)。派遣国 カンボジア、プロジェクト名: カンボジア人材育成計画 (分野: 苗畑分野短期専門家)



有菌 幸司 (ありぞの こうじ)

所属: 熊本県立大学 (環境共生学部長)

職歴: 長崎大学薬学部助手(1979年4月~1985年6月)

文部省内地研究員(九州大学理学部)1983年5月~1984年2月

長崎大学薬学部講師(1985年6月~1993年3月)

文部省在外研究員(米国サウスダコタ大学医学部生化学教室)(1986年12月~1987年9月)

博士研究員(米国サウスダコタ大学医学部分子生物学教室)(1990年9月~1991年8月)

長崎大学薬学部助教授(1993年3月~1997年10月)

長崎大学環境科学部助教授(1997年10月~1999年3月)

熊本県立大学環境共生学部教授(1999年4月~)

専門分野: 食環境安全性学、衛生科学、環境毒性学、食のリスクコミュニケーション。

派遣勤務歴: フィリピン労働安全センター (H5.9-H5.10)

インドネシア環境管理センター (H10.3-H10.3)

インドネシア環境管理センター (H11.10-H12.3)

チリ国環境センター (H13.9-H.14.3)

マレーシア SIRIM センター (H14.3-H.14.3)



会員の広場

~近況報告から~

最近または現在進行中の
プロジェクト派遣国

里見 義則 会員

ブータン、パナマ

入口 紀男 会員 ベトナム

松山 明人 会員 ニカラグア

赤木 洋勝 会員 ブラジル

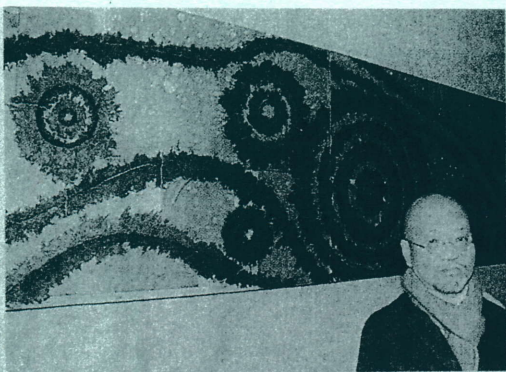
現在派遣中の会員

金刺 潤平 会員

ウズベキスタン

スタバ飾る和紙作品

水俣市の紙すき職人金刺潤平さん(32)がコーヒーの豆かすを使って手掛けた和紙の作品が、太宰府天満宮(福岡県太宰府市)の参道沿いに開店した「スターバックスコーヒージャパン」(東京)の新店舗を飾っている。作品名は「転生」。東日本大震災の犠牲者や福島第一原発の被災地に対し、復活への願いを込めた。



水俣市の紙すき職人金刺さん 太宰府で

コーヒー豆かす利用「復活」テーマ

スターバックス社はコーヒーの豆かすの再資源化を東京都内の店舗で進めており、今回は九州で活躍する金刺さんに作品づくりを依頼。11月に完成した。
新店は歌舞伎座などを手掛けた建築家・隈研吾氏の設計。金刺さんの作品(縦1材×横8材)は太宰府天満宮境内の心字池をイメージし、水面に波紋が広がる様子を描いた。コーヒーで染めた素材などを使ったほか、波紋の部分は、豆かすと、にかわを練り合わせて作った。作品を支える板の作成には水俣市の合板メーカーや木工職人も協力した。
金刺さんは「ことは、多くの方が亡くなった。再び生まれ変わってこの世に現れてほしいとの願いを込めた」と話している。

店内に掲げられた「転生」の願いを込めたという金刺さん(太宰府市)

(井村知章)

